

社会保障審議会 介護保険部会（第45回）	内藤委員 提出資料
平成25年6月6日	

社会保障審議会介護保険部会資料

（平成25年6月6日）

公益社団法人全国老人保健施設協会
副会長 内藤 圭之

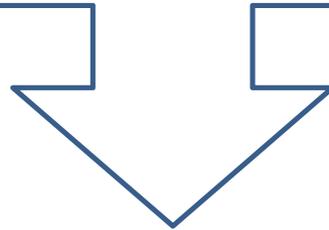
(i) 入所者の長期化

●在宅復帰率

首都圏や地方の中核都市での機能

⇒それ以外の地域における施設機能

医療や生活期リハによる健康寿命社会への貢献



こういう役割も老健の機能！

単なる「住まい」と位置づけしないで
地方におけるモデルとして
明らかにしていきたい

(ii) 老健の医療と看取り

- 利用時に対象となった疾患・障害と
異なる新たな発症への対応
- 廃用症候群、BPSDの対応と
同時に摂食嚥下機能の低下への対応
- 医療的要因の増大に伴う老健医師の有効活用
- 日本老年医学会との提携による
老健施設管理医師研修制度の創設
- 所定疾患の拡大による
老健での看取りの場の確保

(iii) 低所得者対策

- 所得に応じた自己負担の適正化と同時に低所得者対策
- 食費の基準限度額の妥当性について、データも含めた議論を

補足給付と食費の実態調査

平成24年10月調査「介護老人保健施設の現状と地域特性に関する調査」
N=1,800

			今回調査		前回調査	
			回答数	平均(円)	回答数	平均(円)
入所	食費(第4段階)	朝食	630	404円		
		昼食	631	580円		
		夕食	629	571円		
		1日あたり合計	1,200	1,563円	1,067	1,561円
短期入所	食費(第4段階)	朝食	921	401円		
		昼食	923	583円		
		夕食	921	570円		
		1日あたり合計	1,029	1,560円	1,049	1,559円
通所リハ	食費(第4段階)	昼食	1,100	582円	1,001	619円

補足給付における基準食費額 1日あたり 1,380円

平成24年9月末の利用者の負担段階別の状況

平成24年10月調査「介護老人保健施設の現状と地域特性に関する調査」 N=1,800

区分	入所 (N=969)		短期入所 (N=836)		通所リハ N=217	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
第4段階	29,732名	37.4%	1,932名	55.2%	2,422名	83.5%
第3段階	12,173名	15.3%	424名	12.1%	154名	5.3%
第2段階	33,921名	42.6%	1,059名	30.3%	273名	9.4%
第1段階	3,733名	4.7%	85名	2.4%	50名	1.7%
第3段階までの比率		62.6%		44.8%		16.4%

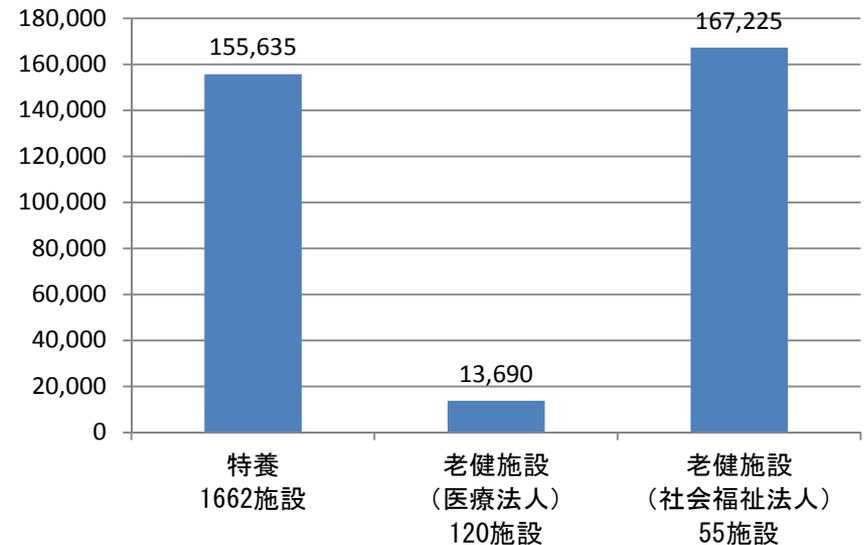
(iv) 経営実態調査の在り方について

- 税引き前の損益である収支差率に基づく議論
- 今回の内部留保金についての「実在内部留保金」についての調査では貸借対照表についての調査が行われ、高く評価している。
- 医療事業と介護事業をきちんと按分した貸借対照表についての調査の継続を要望したい。

内部留保調査の集計結果について

実在内部留保 1施設当たりの平均

千円		
特養 1662施設	老健施設 (医療法人) 120施設	老健施設 (社会福祉法人) 55施設
155,635	13,690	167,225



実在
内部留保

○内部資金の蓄積額のうち、今現在、事業体内に未使用資産の状態
で留保されている額(減価償却により、蓄積した内部資金も含む。)
=「現預金・現預金相当額」-(流動負債+退職給与引当金)

今後も、貸借対照表についての調査を要望する。